

平成21年度

平成21年4月 第31回未来の科学の夢絵画展幼稚園の部優秀賞の全国選出五名中の二名に選ばれ、東京での表彰式に参加する。

5月 年長組サッカー指導講師として、ヴァンラーレ八戸に依頼すると同時にサッカーの課外教室も開催する。

8月 ブランコを撤去し、新しいステンレス製のブランコを設置する。

10月 八戸市を緑にする会主催花壇コンクールで「八戸市婦人協会会長賞」を受賞する。副園長岡本潤子先生が、八戸市教育委員長に任命される。

11月 交通安全・交通事故防止の功績により、青森県交通安全協会並びに青森県警察本部長より表彰される。

平成22年3月 ひまわりランドにステンレス製ののぼり棒を設置する。



小林八戸市長に、
絵画展受賞の報告



東京での受賞式



5月26日 サッカー指導講師を
ヴァンラーレ八戸に依頼する。



7月5日 創立55周年を記念した
『ゴーゴー運動会』を開催する。



7月18日 第57回八戸七夕まつり
飾付コンクールにおいて、お父
さん委員会で製作した七夕飾りが
優秀賞を受賞する。



8月6日 ブランコを撤去し、
新しいブランコを設置する。



ひまわりランド内に花壇を作る。



茶話会にて先生方のステージ



平成21年3月9日に国宝に指定された「合掌土偶」を
お祝いして、年長組が土粘土で土偶を作ります。



トリオ・ザ・ポンチョスのコンサートに出演する。

第56回卒園児



平成22年度

- 平成22年5月 課外教室として、泉彩菜先生による日舞教室が始まる。
- 10月 八戸市を緑にする会主催花壇コンクールで、「八戸市ばら会会長賞」を受賞する。
- 11月 千葉学園高等学校創立100周年記念式典が八戸市公会堂で、祝賀会が八戸プラザホテルアーバンホールにて行われる。
- 平成23年3月 東日本大震災が発生。当日は茶話会が八戸パークホテルにて行われ、全教職員と年長組親子が参加していた。園舎、園児には直接被害はなかったが、全市内停電となり4日間休園となる。修了証書授与式は年長組親子のみで挙行する。



4月23日 第32回未来の科学の夢絵画展幼稚園の部で優秀賞に選ばれる。



泉彩菜先生による日舞教室。



10月12日 ひまわりランドに「まわる新幹線」を設置し、除幕式を行う。



創立100周年を祝う。莊厳で格調高い式典。



10月27日 「八戸市を緑にする会」主催花壇コンクールで、『八戸市ばら会会長賞』を受賞する。



平成23年2月27日 小林幹夫PTA会長率いるお父さん委員会で、長靴アイスホッケー大会に参加する。



千葉学園高等学校の100周年を祝し、年長組が前園長千葉富江先生がこよなく愛したダルマを製作する。



平成23年3月11日 東日本大震災が発生。全教員と年長組親子は、茶話会に出席のため八戸パークホテルにて地震に遭遇。



第57回卒園児



平成23年度

平成23年10月
11月 八戸市を縁にする会主催花壇コンクールで、「八戸市ばら会会長賞」を受賞する。
第三千葉幼稚園創立50周年記念を祝う会と三園合同園児作品展を、八戸ポータルミュージアムはっち全館にて行う。
第三千葉幼稚園創立50周年を記念して「三園合同大人の同窓会」を八戸グランドホテルにて行う。



4月26日 平成23年度PTA総会が行われ、荒谷勝彦さんがPTA会長に就任し、平成17年度よりPTA会長に伝わる黄色のネクタイを澤口PTA副会長より手渡される。



6月12日 日曜参観日の全体会にて、クラス毎に段ボールで動物製作を行う。



12月1日 第35回三園合同年長児のつどい終了後、第二ワシントンホテルにて永年勤続者表彰を行う。



12月16日 園内クリスマス会にジャズ演奏者デビット・マシューズさんが参加し、演奏する。



12月13日 青森県産米イメージキャラクター「お米大使」が来園し、年長組が親子おにぎり教室を行う。



11月5日 三園合同「大人の同窓会」



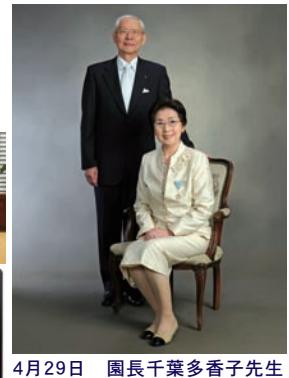
八戸ポータルミュージアム「はっち」全館が子どもたちの作品や、子どもたちの笑顔に包まれた。

第58回卒園児



平成24年度

- 平成24年 5月 園長千葉多香子先生が青森県私立幼稚園連合会会長に就任する。
園長千葉多香子先生が、長年の教育活動に対し、瑞宝双光章を受章する。
- 7月 園長千葉多香子先生の瑞宝双光章受章を祝う会を八戸パークホテルにて行う。
- 8月 年中・年長組の体育指導を幼稚体育研究所に依頼し、週に一度の体育指導が始まる。それに伴い、課外教室に体操クラブが加わる。
- 9月 副園長岡本潤子先生が、八戸市教育委員長に任命される。
- 10月 ひまわりランドにステンレス製の鉄棒を設置する。
- 平成25年 2月 八戸市と八戸警察署主催の『安全安心まちづくり』において、安全教育について副園長が発表を行う。



4月29日 園長千葉多香子先生が、長年の教育活動に対し、瑞宝双光章を受章する。



先生方による「うらしま太郎」で園長先生をお祝い。



4月25日 園長先生が永年勤続50年を記念して、園にグランドピアノを寄贈する。



6月1日 園長先生のお知り合いのヴァイオリン奏者大津純子さんが『音の玉手箱』コンサートを園で開催してください。



10月 ひまわりランドきのこ型ベンチの屋根改修を行う。



5月2日 講師による体育あそびを始める。



9月10日 白銀中学校3年生が家庭科の授業の一環として保育実習に来園する。



10月1日 新しいステンレス製鉄棒を設置。



11月7日 八戸歯科衛生専門学校の実習受け入れを始める。

第59回卒園児



平成25年度

平成25年4月 第35回未来の科学の夢絵画展幼稚園の部で優秀賞を受賞し、東京での表彰式に出席する。

6月
10月
木製二人乗りすべり台を特注製作し、プレイルームに設置する。
ひまわりまつりを三園のお祭り「わくわく幼稚園」とし、三園合同園児作品展と同時に開催する。



4月 第35回未来の科学の夢絵画展幼稚園の部で優秀賞に選ばれる。



6月6日 木製二人乗りすべり台を特注製作し、プレイルームに設置、山子泰典PTA会長と園長で滑り初めを行う。



6月24日 ヤマト運輸さんと交通安全委員会共催の交通安全教室をプレイルームにて行う。



5月23日 種差海岸が三陸復興国立公園に指定されたことを祝い、園外保育で種差海岸へ出かける。



7月10日 園の隣に開設した特別老人施設りんごこ寿楽荘を訪問し、交流会を始める。



南郷・山の楽校のひまわり畑に園外保育に出かける。



10月6日 「わくわく幼稚園」オープニング 三園のPTA会長によるテープカット。



12月8日 『はっちで千葉高』に賛助出演をする。



平成26年1月21日 元千葉幼稚園の教員鈴木良子先生のご厚意で、琴と尺八と語りの会を行う。

7月 第59回八戸七夕まつり飾付コンクールにおいて、優秀賞を受賞する。



11月9日 三八・上北流域林業活性化センター主催の「森のめぐみ展inはっち」のオープニングに出演する。

第60回卒園児



平成26年度

- 4月 第36回未来の科学の夢絵画展幼稚園の部で優秀賞を受賞し、東京での表彰式に出席する。
- 5月 青森県教育委員会主催の幼稚園等新規採用教育研修会が園を会場に行われる。学校関係者評議委員会の開催を『公開保育を活用した幼児教育の質向上システム』にて行い、(公財)全日本私立幼稚園児教育研究機構より安達謙委員長他、多くの園長先生方が参加する。
- 6月 玄関前のポプラの木を伐採する。
- 9月 創立60周年記念参観日が幼稚園を会場に行われる。
- 10月 「創立60周年記念のつどい」がたくさんのお客様をお迎えし、幼稚園で行われる。創立60周年記念三園合同園児作品展並びにわくわく幼稚園が幼稚園を会場に行われる。花壇コンクールにて優秀賞を受賞し、表彰式に環境委員が出席する。
- 11月 桂小文治さんが来園し、落語を披露くださる。
- 平成27年3月 「羽仁もと子を知ろう」と題し、岡本潤子副園長を講師に講話会を開催する。
- 創立60周年記念誌を発刊する。



4月 未来の科学の夢絵画展幼稚園の部で優秀賞を受賞



5月30日 公開保育で「保育の質」を高める



6月10日 さようならポプラさん！



6月29日 記念大運動会で作った「60」の人文字



7月11・15・17日 お父さん委員会が作った七夕飾り



10月5日 ひまわりドームが美術館に



11月18日 桂小文治さんから落語のプレゼント



平成27年1月23日 「羽仁もと子いろはかるた」でカルタ大会



創立60周年記念オリジナルかるた
羽仁もと子の「いろはかるた」



7月16日 交通安全委員会による交通安全教室



広報委員会
「広報ひまわり」作成



12月3日 図書委員会主催による「手作り絵本」



環境委員会による花壇整備



泉彩菜先生と歴代舞くらぶの子どもたちによる祝舞



60周年記念 実行委員会による口上



平成27年度

- 4月 第37回未来の科学の夢絵画展幼稚園の部で優秀賞を受賞し、
東京での表彰式に出席する。
- 9月 副園長岡本潤子先生が八戸市教育委員を2期8年、並びに委員長を務めた功績により、
八戸市長より感謝状を贈呈される。
- 10月 「八戸を緑にする会」花壇コンクールにて「八戸花卉共同組合会長賞」を受賞する。
- 11月 副園長岡本潤子先生が、ニュージーランドへ幼児教育視察に出かける。
八戸日本料理業芽生会主催の「すききらい克服プロジェクト」が年長組と保護者
対象に園で行われる。



4月24日 未来の科学の夢絵画展表彰式



5月12日 長年園医として子どもたちの健康を見守ってくださった六郷先生最後の内科検診



5月31日 八戸テレビ感謝祭に出演



6月7日 日曜参観日に伊藤博章八戸市教育長の講話会



7月9日 お父さん委員会が市民による七夕飾りに出品 見事優秀賞に輝く



8月18日 幼児教育実践学会に参加(郡山市)



9月2日 なぎさなおこさんによる料理教室を開催



10月8日 フリープレイズガンバレ！



10月28日 札幌の幼稚園の園長先生方が視察に



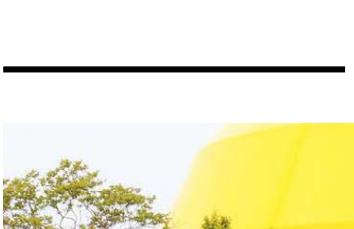
11月12日 八戸芽生会の皆さん



ニュージーランドにてマーガレット・カー氏の講話を受ける



平成28年2月22日 ペッパー君が遊びに来たよ！



第62回卒園児

平成28年度



- 4月 副園長岡本潤子先生が園長に、園長千葉多香子先生が名誉園長に就任し、統合により千葉幼稚園が新たな歩みを始める。
第二千葉幼稚園・第三千葉幼稚園の千葉幼稚園への統合に際し、両園からの転入園児を迎える始業式参観日を行う。
- 7月 園長岡本潤子先生が多年にわたり教育委員として地方教育行政の振興に尽くした功績により、全国市町村教育委員会連合会及び青森県市町村教育委員会連絡協議会より表彰状を受賞する。
- 8月 第31回東北地区私立幼稚園教員研修大会福島大会にて研究発表を行う。
- 11月 名誉園長千葉多香子先生が長年にわたりPTA連合会の振興と発展に寄与した功績により、八戸地区私立幼稚園PTA連合会より感謝状を贈呈される。
- 平成29年1月 第二千葉幼稚園・第三千葉幼稚園の千葉幼稚園への統合に際し、三園の卒園児・卒園児保護者・応援企業の会『千葉幼稚園のつどい』を八戸パークホテルにて開催し、280名が集い、園歌を高らかに歌い合う。
- 園長岡本潤子先生が安全・安心まちづくりの推進に貢献した功績により八戸警察署長より感謝状を贈呈される。

園長岡本潤子先生が安全・安心まちづくりの推進に貢献した功績により八戸警察署長より感謝状を贈呈される。



4月 千葉多香子園長から岡本潤子先生へバトンタッチ

4月9日 始業式参観日



5月29日 大規模な水防訓練に参加



6月5日 日曜参観日にて園医小倉先生のミニ講話



6月8日 コロル 大人のPラバン講座



6月21日 八戸警察署の協力によりチャイルドシート講習を開催



8月21日 福島めぐえ幼稚園との合同懇親会に参加



9月13日 ヤマト運輸様の協力により交通安全教室を開催

平成29年1月28日 千葉幼稚園のつどい～新たな出発を祝って～

第63回卒園児



平成29年度

- 4月 第39回未来の科学の夢絵画展幼稚園の部において、優秀賞1名、奨励賞1名受賞し、東京での表彰式に出席する。
6月 日曜参観日にて「お父さんパネルディスカッション」を行う。
7月 大型総合遊具を撤去する。
9月 年中組が於本自動車学校主催の交通安全教室に参加する。
11月 園長岡本潤子先生が幼児教育研修として、イタリアの都市レッジョ・エミリア市を視察する。
平成30年2月 青森トヨベットさんからの依頼で交通安全教室を開催。その様子がテレビコマーシャル用映像として収録される。
2月 年長組表現あそび参観日を「ららら参観日」として、音楽あそび中心にプレイルームにて行う。
3月 第40回未来の科学の夢絵画展幼稚園の部において、奨励賞1名受賞する。



審査委員長 秋山孝さんと



第64回卒園児

平成30年度

- 5月 第二千葉幼稚園から山茶花を移植する。
 8月 小型スクールバスでの運行始まる。
 8月 第9回幼児教育実践学会にて「園内研修」をテーマにポスター発表を行う。
 9月 『交通安全市民の集い』に長年出演した貢献に対し、
 八戸地区交通安全協会会長・八戸警察署長・八戸市長より表彰される。
 11月 『広報ひまわり』100号を記念して、地元新聞社2社と共に座談会を実施する。
 劇団『やませ』による千葉クラ先生主題の劇『学びませう』に年長組4名が出演する。
 12月 大妻女子大学の岡健教授を招聘しての当園園内研修を、県内の幼稚園の先生方に
 公開しながら実施する。

- 平成31年1月 平成元年に設立した卒園児保護者の会ひまわり会が第30回目を迎える。
 2月 ヤマト運輸さん協力により、交通安全教室を実施する。
 2月 (公財)全日本私立幼稚園児教育研究機構が開発した
 公開保育を活用した幼児教育の質向上システムECEQを実施し、
 大妻女子大学岡健教授を講師に園内研修を実施、公開保育を行いう。
 3月 園内広報紙『広報ひまわり』の発刊が100号となり、記念号を発行する。

